

2017年度 学力試験問題

国 語

「指定校特待生推薦入試(A日程)」

「自己推薦特待生入試(A日程)」

2016年10月19日(水)実施

芦屋大学

【問題一】 次の文章をよく読み後の各問に答えなさい。解答は全て解答用紙の解答欄に記入する。 (配点30点)

〈這(は)えば立て立てば歩めの親心〉はことわざのようだが、江戸の川柳集にも載っている。

わが子の成長を待ち望む親心はいつの時代にも変わらない。子が育てば(ア)半径は広がる。

〈立てば歩めが駆けだして母苦勞〉という江戸川柳もあって、うなづく方は多かるう▼よちよち

駆ける。親はハラハラ。去年の本紙に「幼児用リード(ひも)」の話が載っていた。歩きはじめ

た子を親がつないで危険から守るために不朽しているという。安心感の一方、「犬みたい」との

声もあって、受け止め方は様々らしい▼子が長じれば、目はいつそう届きにくい。昨今、安心を

求めて「居場所追跡サービス」を利用する親が増えているそうだ。持たせた携帯電話のGPS機

能を使って、外出中の子がどこにいるかを把握する▼ランドセルのまま(イ)を食ったゆる

やかさが懐かしいが、(ウ)が一を案じる親心は分かる。だが、やめどきを考えるのも大事

らしい。子の成長につれて「見守り」は「(エ)」「へと受け止めが変わりやすい▼さて、卒

業と入学の季節。春はそれぞれに親離れ、子離れするときでもある。(入学の子に見えてゐて遠き

母)福永耕二。小学校の新1年生の心細さであろう。保護者に引かれた手を離して他人の中に入

っていく幼子(おさなご)も、試練をくぐって歩んでいく▼親御さんには、つい差し伸べたくな

る手を、もう片方の手でそっと押さえる覚悟が要るときかもしれない。親子の距離は永遠の難問

だが、広がる距離は(オ)の証しととらえたい。

問一 問題の文章中には例のような同音異義語あるいは同訓異字の漢字間違いが1箇所ある。
その間違いを指摘し正しい漢字に直しなさい。

- | | | | | | | |
|----|------------|---|----|---|---|----|
| 例1 | 大臣の職を自認する。 | Ⓐ | 自認 | ↓ | Ⓔ | 辞任 |
| 例2 | 有名人を排出する。 | Ⓑ | 排出 | ↓ | Ⓕ | 輩出 |
| 例3 | 事務を取る。 | Ⓒ | 取る | ↓ | Ⓖ | 執る |

問二 (ア) (オ) に入る最も適切な語句を答えなさい。ただし、(ウ) は漢字1字、それ以外は漢字2字で答えること。

問三 本文のタイトルとして最も適切なものを次の選択肢の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- A 子の成長を望む親心
- B 幼児用リード(ひも)
- C 安心を求める親心
- D 卒業と入学の季節
- E 親離れ子離れするとき
- F 親子の距離

(平成二八年三月二五日付朝日新聞、『天声人語』による)

【問題二】 次の傍線部のカタカナを正しい漢字に直しなさい。(配点10点)

- 1. 今年の桜はアワ^アただしく散った。
- 2. 苦学の末、成功をオ^オサめた。
- 3. 目標をシ^シボって攻撃を加える。
- 4. ここで少しキュウ^ウケイしよう。
- 5. 教室でサ^サワぐのはやめよう。

【問題三】 次の□の中に対義語になるように漢字1字を入れなさい。(配点10点)

- 1. 悪化 | 良□
- 2. 孤立 | 連□
- 3. 強情 | □順
- 4. 上昇 | □下
- 5. 長寿 | □命